



校長室だより

校長 山崎 聡子

第54回 春季運動会を迎えます

運動会スローガン「最後まであきらめ
な、全力でたのしもう～笑顔あふれるチャ
レンジャー～」のもと、6月3日(土)に実施
予定の運動会に向けて、各学年が練習を積み
重ねてきています。久しぶりに全校が一同に
集まって行う運動会です。各学年の徒競走と
表現、2学年合同の団体競技等、また高学年
は係活動として、当日の運営に大きく関わっ
ていきます。子供たちが活躍する姿を御覧い
ただきたいと思います。

校長室に、特に子供たちの大きな声が聴こ
えてくる練習場面があります。それは、徒競
走の練習場面です。ゴール手前で失速せず
最後まで走り抜けるようにと、教員が声をか
け、力の出し方を伝えています。それと共に
走り終えた子供たちが走ってくる仲間たちに
「がんばれ。がんばれ。」と大きな声援を送
っています。子供たちが仲間に送る声援を聴
いていると、私自身、大変温かな気持ちに包
まれます。声援を送られている子供たちは、
もっと心地よさを感じていることと思います。
また、団体競技や表現も、みんなで創り上げ
ていく過程の中で、友達へアドバイスする姿
ややり方を丁寧に伝えたり、教え合ったりす
る姿もたくさん見られます。そういった関わり
合いを通して、子供たちの心がさらに豊か
になっていくことと思っています。

子供たちのよりよい成長を日々願っていま
すが、成長を支える上で心に留めておきたい
と思う詩を紹介します。

「子どもたちはこうして生き方を学びます」
という詩です。

批判ばかり受けて育った子は
非難ばかりします
敵意に満ちた中で育った子は
誰とでも戦います
ひやかしを受けて育った子は
はにかみ屋になります
ねたみを受けて育った子は
いつも悪いことをしているような気持ち
になります
心が寛大ななかで育った子は
がまん強くなります
励ましを受けて育った子は
自信をもちます
ほめられるなかで育った子は
信仰心をもちます
公明正大のなかで育った子は
正義心をもちます
人に認められて育った子は
自分を大切にします
仲間の愛のなかで育った子は
世界に愛を見つけます
「アメリカインディアンの教え」

加藤 締三 著

詩 ドロシー・ロー・ノルト

運動会当日、一人一人がその子なりのすば
らしい姿を見せてくれることと思います。そ
の姿は、様々な思いの積み重ねから表れてき
ているものであると考えます。子供たちが、
日々紡いできたものにも心を寄せて御覧いた
だけましたら、子供たちの喜びもさらに大き
なものとなると思っています。

私も子供たちの成長をたくさん見出して、
言葉に出して伝えていきたいと思っています。